

北海道身体障害者新聞

発行人 (社団)北海道身体障害者福祉協会 赤坂勝
札幌市中央区南三条西六丁目(かどろ2-7)
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858
ホームページ www.hokushinkyō.or.jp
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
毎月 25日発行
会員購読料(年) 90円 (会費を含む)
非会員 同 2,000円

北身協加盟団体事務局長・担当者会議

加盟団体が一堂に会して協議

社団法人北海道身体障害者福祉協会(会長赤坂勝)は六月二十三日(木)、札幌市内の道民活動センタービルで加盟団体事務局長・担当者会議(出席…三十一団体・三十四名)を開催した。この会議は、年一回、この時期に開催しており、本年度に実施する事業説明の後、出席された方々から忌憚のない質疑や意見が出されるなど北身協と加盟団体との貴重な意見交換の場となつていく。本年度は、赤坂会長と政田副会長が出席された。



赤坂勝会長 福島の原発事故と日本経済の厳しい状況について触れた後、「私たち障がい者にとつて厳しい自立支援法が平成二十五年から総合福祉法に変わる。昨年六月に一次意見、十二月には第二次意見が出された。国の障害者制度改革は粛々と進められていると聞くが、平成二十五年が大きな節目となる。一方、私ども協会も財政が大変な状況となつていく。地域においても協会の維持すること自体が厳しくなつていくと沢山の会長さんからお話を受けている。私ども協会が会員減少の中でどうしたら五十一団体が生きていけるのか、福祉が行き渡ったということか、協会に加入するメリットは何かという厳しい議論もある。私どもは過去六十年間、この協会で障がい者が当たり前に暮らせる社会の実現に向け運動を続けてきた。障がい者が蔑視されたり、隔離されたこともあったが、そういう状況におかれてい

たものを一つ一つ運動しながら変え、今日に至つてきている。こういうことを若い障がい者の方々に御理解をいただきながら、もつともつと、まだまだ、一般の方と肩をならべて生きていける社会を作るための役割が、私どもの協会にあるのではないかと考える訳です。」と挨拶した。その後、泉常務理事兼事務局長の進行で、各事業について担当からの説明の後、出席者から質疑を求める形で進められた。概要は次のとおり。

【会議項目と主な内容】
▼加盟団体の会費
本年度の会費は平成二十二年の八割の額とし、一、二年かけて今後の会費算定基準を検討したい旨の説明があった。
▼質疑等
①会員でない人の会費を払うことの認識などについて質疑があった。
②本年度も実施する「障がい者一〇番運営事業」、「身体・知的障害者相談員等専門研修事業」、「要約筆記奉仕員養成事業」、「身体・知的障害者生活訓練事業」、「ガイドヘルパーネットワーク事業」及び「盲ろう者通訳・介助員派遣事業」(いずれも委託事業)の各事業について説明があった。
▼質疑等
①要約筆記奉仕員養成事業の地方開催について要望があった。②ガイドヘルパー登録名簿が更新されていないことなどの質疑があった。
▼障害者対策推進事業
本年度も実施する「身体障がい者雇用促進・社会参加支援事業」、「北海道身体障害者新聞の発行」、「北身協ホームページ」、「情報通信技術講習会開催事業」、「要約筆記奉仕員研究会並びに要約筆記技術研修事業」(いずれも補助事業)の各事業について説明があった。
▼障害者社会参加推進センター事業
「障害者社会参加推進センター」の設置趣旨や「障害者社会参加推進協議会(専門部会)」(いずれも補助事業)について説明があった。
▼協会独自事業など
「奨学金事業」、「J R ジパン倶楽部」及び「福祉基金の廃止」について説明があった。
▼全道身体障害者福祉大会
本年度の千歳大会(九月二十三日)について開催要綱(案)により説明があった。来年度の釧路大会は、九月二十二日(土)、開催を予定。
▼加盟団体からの提出案件
「北身協の公益法人改革の方向性」、「東日本大震災の募金の使われ方」などについて提案され、意見交換が行われた。
▼その他意見交換
収益事業に関する情報交換と参考意見として夕張大会での手話通訳者の確保の苦勞事例が紹介された。



出席された加盟団体の皆さん

て質疑があった。
▼障害者社会参加推進事業
本年度も実施する「障がい者一〇番運営事業」、「身体・知的障害者相談員等専門研修事業」、「要約筆記奉仕員養成事業」、「身体・知的障害者生活訓練事業」、「ガイドヘルパーネットワーク事業」及び「盲ろう者通訳・介助員派遣事業」(いずれも委託事業)の各事業について説明があった。
▼質疑等
①要約筆記奉仕員養成事業の地方開催について要望があった。②ガイドヘルパー登録名簿が更新されていないことなどの質疑があった。
▼障害者対策推進事業
本年度も実施する「身体障がい者雇用促進・社会参加支援事業」、「北海道身体障害者新聞の発行」、「北身協ホームページ」、「情報通信技術講習会開催事業」、「要約筆記奉仕員研究会並びに要約筆記技術研修事業」(いずれも補助事業)の各事業について説明があった。
▼障害者社会参加推進センター事業
「障害者社会参加推進センター」の設置趣旨や「障害者社会参加推進協議会(専門部会)」(いずれも補助事業)について説明があった。

【「J」協力を「町内会」の回覧協力による日身連収益事業は、あなたの協会に還付されております。】

全道身体障害者福祉大会千歳大会

第一回推進委員会を開催

六月二十八日(火)、第六十回全道身体障害者福祉大会千歳大会第一回推進委員会(委員長 赤坂勝(北身協会長))が札幌市内の道民活動センタービルで開催された。当日は政田副委員長(北身協副会長)が議長となつて、本年度の全道福祉大会の開催要綱(案)、大会次第(案)、大会スローガン(案)、大会決議(案)及び大会宣言(案)、大会役員、役割分担などの大会運営事項の協議や北身協会長表彰受賞者の選考などが行われた。主な概要は次のとおり。

大会日程

- ▼開催日 九月二十三日(金)祝日
- ▼大会会場 千歳市民文化センター 千歳市北栄2丁目2-11
- ▼大会日程
八時三〇分 受付
九時三〇分 開会
一〇時四五分 式典及び表彰
一〇時五五分 アトラクション
一一時一五分 講演
一二時一五分 昼食・休憩
一三時一五分 全体会議
一四時四五分 大会終了

※弁護士による法律相談は一日三〇分から大会会場内で実施。(事前相談受付中)



全道大会推進委員会委員の皆さん

▼自立更生者 推薦者三十七名から次の二十一名を選考
梶谷靖(渡島地区)、船橋忠夫(後志地区)、西方清徳(後志地区)、山岡敏幸(後志地区)、南義男(胆振)、居壁吉夫(日

北海道身体障害者福祉協会 会長表彰受賞者(敬称略)

- 高支庁、川越幸雄(日高支庁)、木下清徳(日高支庁)、番場精彦(十勝地区)、有田正勝(小樽市)、藤野侑子(小樽市)、村瀬清市(帯広市)、吉田益良(帯広市)、橋本清三(北見市)、中野タエ(千歳市)、門脇淑英(千歳市)、鳴海ミエ(千歳市)、船塚トシ(千歳市)、藤田泰子(滝川市)、石川孝太郎(富良野市)、高田正敏(石狩市)
- ▼援護功労者 推薦者二十五名から次の二十名を選考
齊藤貞三郎(渡島地区)、澤谷昭市(松山地区)、松浦健一(上川地区)、君ヶ袋泰雄(宗谷地区)、佐藤宗二郎(日高支庁)、稲村國男(日高支庁)、工藤キヨ子(十勝地区)、本田栄作(十勝地区)、藤井友幸(十勝地区)、原光治(十勝地区)、大野實(十勝地区)、中野チエ子(帯広市)、星加しげ子(帯広市)、折戸義明(帯広市)、秋山秀雄(名寄市)、堀井弘(千歳市)、佐々木時子(歌志内市)、井上和正(富良野市)、成田了子(富良野市)、今順子(登別市)

記事の訂正

先月号(六月二十五日号)の「北身協通常総会を開催」及び「日身連会長表彰の受賞を称えて」の記事中に誤りがありましたので訂正するとともに、関係者に深くお詫びを申し上げます。
(正)
鹿野均 鹿野等
古泉敏雄 古泉敏雄
佐京信二 左京信二

社団法人日本義肢協会会員

株式会社 札幌義肢製作所 代表取締役 関 喬 札幌市中央区南三条西六丁目 電話代表(〇一)二四一〇九八六番	株式会社 札幌義肢製作所 支店長 舛田裕司 旭川市五条通十二丁目 電話(〇一六六)二四一五三三番	有限会社 野坂義肢製作所 札幌市中央区南三条東四丁目 電話(〇一)二二二一四〇六番	有限会社 河笠義肢製作所 小樽市長橋四丁目七番二十九号 電話(〇一三四)二二一三〇四二番 (〇一三四)三一七〇〇二番	株式会社 馬場義肢製作所 函館市豊川町一五〇一七 札幌市北區太平七条二丁目 室蘭市母恋北町一三〇六 釧路市富士見一五〇九 電話(〇一)三三三二二六五番 (〇一)七四一三〇三番 (〇一)四三三二五九九番 (〇一)五四四一三五四六番	株式会社 田村義肢製作所 札幌市中央区北四條東五丁目 電話(〇一)二〇一〇一七七七番 帯広支店 帯広市大通南十五丁目二十番地 電話(〇一)五五二七二四八九番	有限会社 三愛義肢製作所 代表取締役 柏崎力ネ 岩見沢市志文町九二三番地二六 電話(〇二)二六二二二六四三番	株式会社 協和義肢製作所 岩見沢市三条西八丁目 電話(〇二)二六二二二七三九番 FAX(〇二)二六二二四七六一八番	有限会社 美唄義肢製作所 代表取締役 松田清勝 美唄市東七条北四丁目七番九号 電話(〇二)二六二二〇九三三番	有限会社 千葉義肢製作所 釧路市若草町七番二号 電話(〇一五四)二二一〇三八一番 FAX(〇一五四)二五一九五八八番
---	--	--	--	---	---	--	---	--	--

通常総会資料 (平成23年度一般会計収支予算書 単位:千円)

Table with columns: 収入の部, 科目, 平成23年度予算額, 平成22年度予算額, 増減. Includes sub-sections like 受取会費, 事業収益, 受取補助金等.

Table with columns: 支出の部, 科目, 平成23年度予算額, 平成22年度予算額, 増減. Includes sub-sections like 使用料, 助成金, 協議会運営事業.

Table with columns: 支出の部, 科目, 平成23年度予算額, 平成22年度予算額, 増減. Includes sub-sections like 事業費, 身体障害者福祉総合推進事業.

Table with columns: 支出の部, 科目, 平成23年度予算額, 平成22年度予算額, 増減. Includes sub-sections like 協議会運営事業, 身体・知的障害者生活訓練事業.

Table with columns: 支出の部, 科目, 平成23年度予算額, 平成22年度予算額, 増減. Includes sub-sections like 管理費, 事務費, 給料・手当.

「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスト」の募集
北海道では、今年度も内閣府及び札幌市と共催し、七月一日から八月三十一日の間、体験作文及びポストを募集している。

パソコン教室の開催案内
本年度も次のとおり身体障がい者向けのパソコン教室(初心者対象)を実施します。

川柳
北広島市 本多 司
われ鍋の閉じ蓋出来ぬ後始末
火中の栗拾う夕張新市長

俳句
恵庭市 西島 明
抜き足の猫の目的夏来る
郭公や嶺に一朵の雲を置き

短文
室蘭市 池内満里子
逝き犬の名を呼ぶくせは治らずに
寂しい夜は又呼んで見る

困りごと、悩みごととは「障がい者一〇番」へ
「障がい者一〇番」は、困りごとや悩みごと、相談したいことなどを、電話やメールで相談できるサービスです。

受賞者からのお便り
平成二十二年度の短歌の部で年間優秀作品に選ばれた吉川次子さんから喜びのお便りが届いています。

江別市 戸原 寿夫
春愁を吹って飛ばしたる大津波
花文字の多きメール卒業期

岩見沢義肢
株式会社 岩見沢義肢
札幌市北區篠路一丁目六番三〇号

光生舎 クリーニング
光生舎 クリーナーズ
光生舎 ワークショップ
光生舎 エルム・ライジング

HOP ホップ障害者地域生活支援センター
札幌市東区北二十条東一丁目五十一番地

ニッシン自動車工業
リフト付き車両での移送サービスと障害者ヘルパー派遣
岩見沢市志文町九二二番地

北海道リハビリ
印刷・クリーニング・縫製のご用命は
社会福祉法人 北海道リハビリ

岩崎電子 補聴器センター
安心と実績で全道をネットする認定補聴器専門店
札幌市中央区南2条西3丁目